【結語】

胆膵系EUS時のペチジン塩酸塩使用可でのMDZとFNP使用時における影響の差はなかった。今後も、チームとして患者個人に合わせた鎮静量を考慮し、胆膵系EUSにおける安全、安楽な薬剤使用法について更なる検討を行っていきたいと考える。

【連絡先:〒820-8505 福岡県飯塚市芳雄町3-83 TEL:0949-22-3800】 結果

		19794 (n=30)	フルニトラゼバム (n=30)	p value
検査中の バイタル サイン	BP 90mmHg 以下	05	05	
	HR 40mmHgGLT	0%	0%	
	SP02 94%UF	76.7%	90%	0.299
リカノシリー	BP 90mmHg 以下	13.3%	6.7%	0.671
	HR 40mmHgILT	0%	05	
	SP02 945UT	6.75	6.75	
リカバリー滞在時間(分)		50[48-87]	58(41-94)	0.76

		ミダゾラム (n=30)	フルニトラゼバム (n=30)	p value
患者满足皮	安楽	100%	86.7%	0.112
	11:25	0%	10%	
100	きつい	0%	3.3%	

6. ポリペク後の生活指導パンフレットの改訂 ~統一した患者指導を目指して~

地方独立行政法人 那覇市立病院 ○新垣理佐子 新城亜希子 謝名堂ひろこ

【はじめに】

平成27年度のCSPの本格的導入に伴い、日帰りポリペク患者が増加している。使用しているパンフレットでは追加説明が必要であり、患者・家族からの質問も多くあった。その為説明に時間をようし、慣れていないスタッフにおいては業務に支障をきたす事もあり、説明内容にスタッフの統一が図れていなかった。今回パンフレットの改訂を行うと同時に、スタッフの認識を深める機会を得たのでここに報告する。

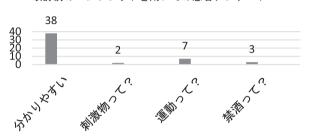
【目的】

安全に自立して日常生活ができる。

【方法】

スタッフ及び、日帰りポリペク患者50名を対象にアンケート調査を実施。患者に対してはパンフレットを用い説明したあと、理解しにくかった点を聞き取り調査した。またスタッフに対しては、パンフレットを用いて説明を行う中で説明に困った事、追加説明している事、よくある質問をアンケートで集計した。

双方のアンケートを元にパンフレットを見直し、スタッフが統一した説明ができるよう に改訂した。



改訂前のパンフレットを用いての患者アンケート

【結果・考察】

患者・スタッフアンケート結果は別紙参照

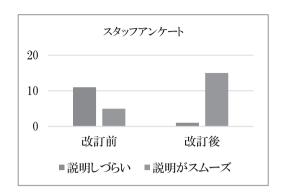
改訂前のパンフレットは1枚の用紙に3つの項目があり、該当欄を丸印で囲んで説明していた。改定後のパンフレットは、タイトル別に分類し用紙分けを行った。

スタッフの内視鏡経験に関係なく統一した説明が出来るように患者・家族が帰宅後の安心感を得られるよう、絵を導入し、注意してほしい項目を明記し、例をあげて患者・家族がイメージしやすいように工夫した。

今回患者アンケート調査も行ったが『覚ええていない』『分からない』等の答えが多く、 十分な回答が得られなかった。今後、手法を変えて、患者の追跡調査もしていきたい。

【結語】

医療技術が進歩する中で、私たちスタッフも提供する手技を適宜見直し、情報を共有する必要がある。時代や地域の変化、ニーズに対応していけるように、パンフレットの内容も適宜見直し、日帰り患者が帰宅直後から社会生活を営めるように、私達医療スタッフが24時間患者・家族をサポートしているという安心を提供できる事だと考えた。







【連絡先:〒902-8511沖縄県那覇市古島2丁目31番地1 TEL:098-884-5111】